

建替えに伴う住宅用地の認定申告書の書き方

建替えに伴う住宅用地の認定申告書

記載例

あて先(福岡市 中央 区長)		申告者	住所	令和〇年12月1日	
①			福岡市中央区天神一丁目8-1		
			氏名	福岡 太郎	
			または名称	福岡 太郎	
			電話番号	092-711-4111	

住宅用地	土地所在地	地積 m ²	所有者氏名または名称	取得年月
①	福岡市中央区天神一丁目321番1	123.45	福岡 太郎	昭和 〇年 4月

建替前家屋	家屋番号		床面積 m ²		所有者氏名または名称	建築年月		
	福岡市中央区天神一丁目321番1		建床	75.50			福岡 太郎	昭和 〇年 11月
住宅用建物	種類	構造	地上階数	戸数	延床面積 m ²			
					住宅部分	140.30	令和 〇年 1月	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
建替後家屋	⑧	⑨	⑩	建替え中の住宅認定内容				
	福岡 太郎	令和 〇年 5月	令和 〇年 1月	敷地	制限	政令	適区	戸数

(注) 完成した家屋が住宅以外(当該申告書の内容と異なる場合を含む。)のものであった場合、当該年度の翌年度に係る賦課期日までに住宅が完成しなかった場合等については、当該年度分の固定資産税又は都市計画税について、改めて非住宅用地として課税する場合があります。

- 赤枠線内について書いてください。
- 「種類」の欄には、建物の種類の該当するものに○印を付してください。
- 「構造」の欄には、建物の構造の該当するものに○印を付してください。

- 「地上階数」の欄には、建物の地上階数(地階部分の階数は除きます)の該当するものに○印を付してください。
- 「戸数」の欄には、住宅の戸数を書いてください。なお、アパート、マンション、寮などの共同住宅の場合は、居住のために独立的に区画された部分をそれぞれ1戸として計算してください。
【記載例】 ●戸数 2戸
- 「延床面積」の欄には、建物全体の床面積を書いてください。なお、店舗兼住宅などの併用住宅の場合については、住宅部分の床面積と住宅以外のその他の部分の床面積及び合計の床面積を書いてください。
【記載例】 ●床面積 (一階 90.12m² 二階 60.13m²) 合計 150.25m²
- 「建築確認年月」の欄には、建物の建築確認申請を行った年月を書いてください。
【記載例】 ●建築確認年月 令和〇年 4月
- 「建築後の所有者氏名または名称」の欄には、建物の所有者氏名(登記上の所有者になる方)を書いてください。
【記載例】 ●所有者氏名 福岡 太郎
- 「建築着手年月」の欄には、建物工事に着手した年月を書いてください。
【記載例】 ●令和〇年 5月
- 「完成予定年月」の欄には、建物が完成する予定の年月を書いてください。
【記載例】 ●令和〇年 1月